

『 こどもの笑顔を守る！ ～SNS との上手な付き合い方～ 』

こども保育科 3年 熊野 花香 都築 椎南 仲山 ひな 山崎 華妃 山本 玲衣

【はじめに】

SNS が主流となっている今、便利な一面もあるが使い方を誤ってしまうとこどもに対する性犯罪や誘拐などに繋がる恐れがある。近年、こどもの性被害や児童ポルノなど、こどもに関わる犯罪が多発していることから、どうしたらそのような被害を未然に防ぐ事ができるのかを考えた。

【連携企業】

プライバシー保護教育推進研究所

SNS がきっかけで未来を捨てざるを得ない若者をゼロにするための教育普及活動をしている。

【方法】

企業課題である「保護者やこどもに関わる全ての人に向けた SNS リスク啓発活動を考える。」というプロジェクトを進めるにあたり、実習先で見た園の現状をまとめるとともに、近隣の園に勤務する保育者を対象にしたインタビューを実施し状況の把握を行った。

実施日：2024年10月～12月

対象：私立保育施設 職員

園長、主任、担任保育者 数名

実施方法：インタビュー

実施内容：上記対象者に個人情報保護に関するアンケートを実施。アンケート項目には、個人情報に関するルールをはじめ、SNS リスクに関するルールや実際に発生したトラブルを記入していただいた。インタビューにおいては、園の様子を発信するアプリケーションの概要や、その取扱い方等を聞きいた。

これらの情報をもとに保護者にも同じように

こどもを守るための共通認識をさらに持つてもらうため効果的な発信方法を考えた。

【結果】

アンケート・インタビューを参考に保育施設に掲示ができるポスターでの啓発が理想的であると考えた。そのため課題に基づく手書きポスターを制作し一次案を提出。

ポスター案について、企業からは、保育所や幼稚園ではこどもを守ることを徹底しているが、こどもとかかわるすべての人が意識すべきことである。こどもにとって1番身近な存在である保護者の理解を得ることが重要であるが保育者が親のプライベートに入ることは難しいため、誰もが目にするポスターは効果的であると好意的意見をいただいた。また、内容についても、手書きを選択した点やこどもの権利条約を取り入れつつも、こども向けかつ保護者に訴えかけるデザインになっていると評価いただいた。

作成したポスターは近隣の保育施設に配布を予定している。

【考察】

今回の取り組みはポスターの制作および配布となったが、一人ひとりの保護者や園などに配布できるようにリーフレットや、IT 機器で閲覧することのできる動画を作成し定期的に配信し見てもらうことで継続的な啓発ができると考えた。

この取り組みから一人の大人、そして職業人として IT 機器の正しい使い方を広めこどもたちが過ごしやすい社会を作っていきたいと考える。

指導教員：櫛田 英代 笹岡 駿貴